

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			運動部屋と学習部屋と分けているため、それぞれの部屋で活動が出来ている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			適切な人員配置で対応している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			入口前に段差があるが、手すり付きのスロープがついている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			自己成長記録を半年に1度程度で記入し、業務の振り返りと目標設定を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			職員全員で共有し、業務改善に生かしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			顧問医師による評価、指導を定期的に受けている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			社内研修を定期的実施している。その他、外部研修に参加している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			事業所内で定期的に検討会を開き、日々の様子、学校での様子、家庭での様子などを把握したうえで、アセスメントを行い、意見を出し合い計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを用いて、強みや課題を明確化している。必要に応じて、質問紙法で出来る評価バッテリーを用いることがある。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			アセスメントシートした内容から支援方法を事業所内で検討し、立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者様の成長に合わせて、活動内容を変更している。情緒の安定のために、継続したプログラムをすることもある。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			学習支援で長期休暇に課題がある場合は、進捗状況の確認などを保護者様と相談の上、必要に応じて支援している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別療育の教室、集団活動の教室があるため、利用者様の特性に合わせたサービスを提供している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			打合せ時間を設け、支援内容の検討や役割分担を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			各自振り返りを行い、記録に残すなどを行っている。その中で共有したほうがいいことについては事業所内共有を行い、日々の支援に生かしている。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			実績記録表への支援内容などを記録し、保護者様へ説明をしている。その他に各自の書式で記録をし、支援に繋げている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い、成長に合わせ見直し、修正をしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			複数の活動から利用者様が選択できるように活動内容を提供している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者や日々療育に関わる職員が参加するようにしている。療育に入る職員全員で会議の内容を共有している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			保護者様送迎のため学校への送迎はないが、保護者様や相談支援専門員を通して、学校での様子、事業所での様子を情報共有している。また事業所の見学に来所されることや学校の見学に行かせていただいている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			現在放課後等デイサービスでの受け入れはないが、医療的ケアが必要な子どもの受け入れには、担当者会議の際、協力医療機関との情報交換を行い、連絡体制を整えている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			就学時の担当者会議に参加し、園での様子を共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		当事業所から他の障害福祉サービス事業所等へ移行の事例がない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			他の事業所と併用している際は、他の機関と連携し、支援に生かしている。また、療育センターなどの専門機関が主催する研修会に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	他事業所との交流はないが、今後イベントなどで交流の機会をもちたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			会議が開催されたら参加し、事業所の紹介やサービス提供についての情報などを伝達している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			療育見学時や送迎で来所された際に情報交換を行っている。定期的に面談の機会を持たせていただき、課題について共通理解を図っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			事業所ごとに茶話会を開催し、保護者同士での情報交換の場やペアレントメンターによる相談の場としている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行っている。年度ごとに独自のしおりを作成し、説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			療育見学時にお話を伺うことや定期的に面談を設定し相談できる機会を設けている。それ以外に保護者様より面談の要望があった際には、その都度面談の日程を設けている。

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者会として茶話会を開催し、保護者様同士の情報交換ができる機会を設けている。利用者様の保護者様が主催している会などのポスターを事業所に掲示し保護者様同士が繋がる場所を紹介している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情対応窓口を設置し、ポスターの掲示を行っている。事業所への苦情があった場合は社内でも共有し、迅速に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月に1度、会報を発行し活動内容や情報提供などを発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の取り扱いについては、十分注意をしている。個人情報保護についての研修会も社内で行っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮しているか	○			利用者様の特性に合わせて、意思疎通や情報伝達に配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			外部の見学を積極的に受け入れ、弊社の理念や事業運営について理解していただけるよう努めている。
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		
39		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に避難訓練を行っている。避難経路も掲示に、すぐに確認できるようにしている。
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止の職員研修会を毎年開催している。
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	利用者様の中に身体拘束に該当する児童はいないが、本人の安全や生命を守るためやむを得ず行う場合は十分に説明を行うようにする。
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	アレルギーについての情報はいただいているが、個別療育のため食事提供は行っていない。
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事業所内で起きたヒヤリハットを記載し、事業所内で検討、その都度改善策を検討している。事業所内だけに土留めずに社内でも共有し、事故防止に努めている。